さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

教室きれいに 感染防げ

山中湖村と花王 汚れ分析、清掃方法改善

山中湖村は、生活用品大手の花王グループと連携して教育現場の衛生環境を向上させる取り組みを始めた。新型コロナ禍を踏まえ、教室での飛沫（ひまつ）や汚れを検査して分析。村は同社から清掃時の重点的なポイントや感染対策の助言を受け、感染症予防に役立てていく。

〈仲沢篤志、武田寛明〉

10月20日、花王プロフェッショナル・サービスの社員ら4人が山中湖中を訪問。教室のホワイトボードを綿棒でこすり、付着している唾液や、人の接触などで残るアデノシン三リン酸（ATP）を採取した。教室の扉の引き手や窓ガラス、児童の机、電話の受話器など約40カ所からサンプルを集めた。

給食の時間も観察し、会話時の飛沫の程度によって、感染症が伝染するリスクを分析。職員室で教職員らの会話の様子も調査し、教職員同士の距離や顔の向き、マスクの有無、話している時間などを記録した。

同社衛生ソリューションビジネス部の相良郁子部長は「どこが汚れやすいか特定することで、重点的に清掃すべき場所がわかり、効率的な清掃方法を提案できる」と話す。11月30日には、感染症流行期の机の間隔や重点的な清掃場所、手指消毒のタイミングなどを助言した。

村と花王プロフェッショナル・サービスは今年7月、衛生環境の充実を目指した包括連携協定を締結。コロナは5類に移行したが、感染リスクは潜んでおり、同社の知見を感染症予防に生かしていく。

村は村内の学校や保育所で取り組みを進め、宿泊施設、イベント会場にも周知して助成などを検討する。担当者は「村の安全をアピールする取り組みにしていきたい」と話している。

教室内の唾液の飛沫を検査する社員　＝山中湖中

ぐんない

仲沢 篤志、武田 寛明、赤池 悠（富士北麓）
飯野 柊平（大月・上野原）赤池 悠（都留）

（2023 年 12 月 9 日付 山梨日日新聞 19 面）

問1

山中湖村は、生活用品大手企業と連携して、どのような取り組みを始めましたか。

.....

問2

山中湖村は、その取り組みから、何を検査して何に役立てて行きたいと考えていますか。

・検　査：.....

・何に役立てる ：.....

問3

山中湖村と企業は、何を目指した何協定を締結しましたか。

・.....を目指した.....協定

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.